

安全



安心

JAL不当解雇撤回ニュース

No342号 2013.12.22
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局
連絡先: 航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4
フェニックスビル内
TEL: 03-3742-3251 FAX: 03-5737-7819
<http://www.jalkaikotekkai.com>

12月18日結審ひかえ 署名提出し公正判決を要請



宣伝行動に合わせ署名を提出

12月18日、裁判所前及び国交省前での宣伝行動と併せ、東京高裁に対し署名を提出し、公正な判決を求めて要請行動を実施しました。この日の提出は530の団体署名と31000筆の個人署名。これで累計提出数は団体署名が10,905団体、個人署名が30万筆となりました。

公正な判断を求め高裁前で



公正な判決を求め正午から東京高裁前で宣伝行動。千代田区労協橋口さん、原告から内田客乗原告団長と谷口さんが訴えを行いました。JAL中部共闘の橋口事務局長は、「17日の第2回総会で採択し、今日11時から要請行動で提出した旨報告。中部共闘として引き続き勝利判決の獲得・不当解雇撤回をめざしともに闘う」とあいさつ。決意表明に立った内田客乗原告団長は、「高裁の審理において、削減目標を強化達成していたにもかかわらず、労働組合の弱体化をねらって違法・不当な解雇したことが立証された」「高裁は明

らかにされたこの事実を踏まえ公正な判断を下すべきだ」と訴えました。

監督官庁の責任を果たせと国交で



国土交通省前での宣伝行動では広島国民救援会川后(せんこう)さん、山口乗員原告団長、そして客乗原告の斉藤さんが訴えを行いました。広島から駆けつけた広島国民救援会川后事務局長【左写真】は、「18日に宣伝行動があると聞き、広島に帰るのを1日延ばし今日の行動に参加した」「一緒に行動ができ嬉しく思う」「皆さんとともに最後まで頑張る」決意を語ってくれました。山口乗員原告団長は「日航の破綻原因は放漫経営もあるが国のゆがんだ航空政策も大きな要因」「国交省はJAL再建に責任があり、安全と公共性を守る立場から日本航空を指導するとともに、争議の解決に向けて動く責務がある」と訴えました。

